

子どもの貧困研究のフロンティア 定例学術研究会 ＜第43回＞

今回は、公益社団法人ユニバーサル志縁センター事務局長の小田川華子先生にお話いただきます。自立準備ができていない若者たちが、未熟なまま社会的養護関連施設や実家をでて、困窮、孤立し、ホームレス状態に陥るリスクは高いですが、若者向けの居住支援施策は整備されていません。民間支援団体が寄付や助成金等を用いて任意で居住場所を用意することで、若者の居住支援ニーズが見えるようになってきています。本報告では、改正児童福祉法、生活困窮者自立支援制度など関連の制度を概観し、若者の居住支援ニーズが制度の狭間にあり、政策課題になっていることについて考察します。ぜひ、ご参加ください。

日時：2024年3月14日(木) 18:00-20:00

報告：困窮・孤立する若者の居住支援ニーズと対応施策の検討
～中間支援から見える課題～

報告者：小田川華子

(公益社団法人ユニバーサル志縁センター事務局長／東京都立大学客員研究員)

ハイブリット開催：ZOOM

対面：東京都立大学オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス

(東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館 3階 35教室)

(人数を制限して対面での参加も可能としました)



ZOOM 申込

https://zoom.us/meeting/register/tJUrf-mrqjwiEtGAHtmPsA7r9yxNE_qixGm9#/registration



対面申込

<https://forms.gle/5Vxn6u2p8hw4PPB79>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail:rccap@tmu.ac.jp

(担当者 三浦・松原)